

REPORT  
améri



# ぐるり庄原 カメラ レポート



## よみがえった桜の名所

### 上野総合公園

4月上旬から中旬にかけて、庄原地域では各地で桜が満開を迎え、晴天の日には多くの花見客や観光客でにぎわいました。

桜の樹勢回復のための改修工事が3月に完了した上野総合公園弁天島では、改修工事で植えた木と既存の幹を樹勢回復したもの合わせて100本あまりが咲き誇り、訪れた多くの人を楽しませました。



お弁当を持った家族連れやグループでにぎわう弁天島

4月1日から30日までの「上野公園さくら祭り」の期間中には、1万人を超える多くの人々が公園を訪れ、「桜の名所百選に選ばれている公園の桜をまた見ることができてうれしい」、「来年もきれいな花を咲かせてほしい」などの感想が聞かれました。



湖畔の桜並木にも多くの人



## 古代から伝わる伝統的な鉄づくり

### 備北丘陵公園でたたら鉄づくり



指導にあられた木原明さん

4月23日(土)、24日(日)の2日間、備北丘陵公園で「たたら鉄づくり」が開催されました。この鉄づくりは中国地方に古くから伝わる鉄の製法で、土で造った炉で、木炭の火を「ふいご」を使って高温にし、砂鉄を溶解・還元させて日本刀の材料となる「玉鋼(たまはがね)」をつくります。参加者とボランティアの皆さんは、「村下(むらげ)」と呼ばれる鉄づくりの責任者の木原明さんの指導で作業に挑戦。練った土で築いた炉に火を起こし、木炭と砂鉄を交互に入れる作業を10時間以上続け、2つの炉の中にはあわせて40kgあまりの玉鋼ができました。



勢いよく炎が上がる炉に木炭を入れる参加者



## 地域の元気と笑顔がいっぱい

### しあわせ館まつり

4月24日(日)、西城保健福祉総合センターしあわせ館で、「しあわせ館まつり」が開催されました。このまつりは、しあわせ館を拠点に活動をされている皆さんが、日ごろの成果を発表したり、お互いに元気を発揮し合う場として、今回で6回目を迎えました。

晴天に恵まれた当日は、ステージ発表や「さをり織り」のファッションショー、展示即売や飲食コーナーなどに600人を超える多くの人が訪れ、にぎわいを見せていました。

会場の参加者からは、「今日の盛り上がり」と皆さんの笑顔を見て、合併後のまちづくりに明るさを感じました、「世代を超えて皆さんが力を発揮し、一つのお祭りが出来るのはすばらしいことです。これからもずっと続けてほしい」などの感想が聞かれました。



歌と踊りで盛り上がる会場



焼きたてのパンは大人気ですぐ完売



## 満開の桜とイベントを楽しむ

### 第1回桜まつり

4月15日(金)・16日(土)の2日間、東城地域の桜町にある桜町通りで、桜町常会と城山会の主催による第1回桜まつりが開催されました。

15日の夕方からは、地元の皆さんによる琴やギター、エレクトーンなどの演奏が披露され、訪れた人は幻想的な夜桜のもと、華麗な花と優雅な演奏の音色を楽しみました。

16日には、地元の鬼神太鼓の勇壮な演奏のほか、東城の日本酒や焼酎の利き酒、刺し子展示なども開催。2日間で多くの観光客が訪れ、満開の桜の中で花とイベントを楽しんでいました。

また4月中旬から下旬にかけては、小奴可の要害桜、森湯谷のエドヒガン、さらには千鳥尺のヤマザクラなども咲き誇り、多くの人を楽しませました。



夜桜のもとで、琴の音色に聞き入る皆さん



小奴可の要害桜



## みんなで地域をきれいに

### 美・クリーン運動

4月24日(日)、町内を一斉に清掃する美・クリーン運動が行われました。この運動は、口和公民館が主催で10年以上続けられている恒例の行事で、毎年2回実施しています。

当日は、早朝7時から地域の皆さんが各集会所などに集まり、一斉に作業を開始。道路や水路などを、ごみを拾いながら歩きました。

この日は、空き缶や空き瓶、タバコの吸殻や紙くずなど軽トラ5台分という大量のごみが集められました。作業の参加者の中からは驚きの声や、「活動を続けているにもかかわらず、ごみの量が減っていないのでは」などの声がありました。

一人ひとりがマナーを守り、環境に対する意識を持つことで、美しいまちをつくっていきましょう。



ポイ捨てされた空き缶などで、持ち歩いた袋はいっぱいに…







## ふるさと自慢のCMが大賞を受賞

### HOMEふるさとCM大賞で高野町

県内25市区町がふるさと自慢の手作りCMで競う「第3回HOMEふるさとCM大賞」において、高野町の作品「夢産地たかの」が大賞を受賞しました。この作品は、町づくりグループ「グリーンウエーブ21」などが制作。「夢産地たかの」ブランドで人気の高野大根を、青年が夢の中で見る美脚に例えて紹介しました。3月27日(日)の審査会では、審査委員長の山本晋也監督から「意外性があるとおもしろい。夢のシーンをカメラにタイトツをかぶせて撮影するなど凝っている」と高い評価があり、制作にあたったメンバーは「地域を愛する気持ちがいい作品につながった。これで農業のまち高野町をさらにアピールできる」と喜びを話してくれました。

なおこのCMは、年間100本以上広島ホームテレビで放送されますのでご覧ください。



広島ホームテレビ本社で開催された受賞式には、メンバーと担当者が出席



大根畑で撮影に励むメンバー



## 比和の特産品がいっぱい

### 「比和の特産市場」リニューアルオープン

4月24日(日)、グリーンポート吾妻路広場に「比和の特産市場」がリニューアルオープンしました。開会行事では、比和特産市場振興会の松長会長からあいさつと餅まきが行われた後、テープカットでオープンとなりました。

店頭には、春の山菜や新鮮野菜、加工品などが所狭しと並び、多くの買い物客でにぎわいました。この特産市場は、毎週土・日曜日の7時から12時まで、グリーンポート吾妻路広場に於て開かれています(1月から3月までは休業)。新鮮野菜など比和の特産品を取り揃えていますので、ぜひお立ち寄りください。

(問い合わせ 比和支所地域振興課 ☎0824-85-3000)



新鮮野菜や特産品を求めて多くの人が訪れました



テープカットでいよいよオープン!



## 地域の未来を考えよう

### 木屋自治振興区で活動の話し合い

4月25日(月)、総領地域の木屋自治振興区で、交付金などを活用し自治振興区活動を充実するための話し合いが開催されました。

当日は、自治振興区の役員など9人が集まり、総領支所の職員を交え、地域の説明会に向けて活動計画の原案づくりについて協議が進められ、時間の経過を忘れるほど活発に議論が交わされました。中では、計画した活動が補助金の対象となるのか、より効率的に計画を実施する方法があるかなどの質問も出されたり、実施にあたり必要となる維持管理費を調査することが決められるなど、地域の夢の実現のための振興計画づくりについて議論が進められました。



多くの資料を準備し、地域の「ゆめ」の実現に向けて真剣に話し合い